

3・11「被災者支援・原発ゼロ」

行動を県内各地で実施



川崎でのデモ行進

東日本大震災・福島原発事故からちょうど一年、県内各地で「被災者支援・震災復興と原発ゼロ」を訴え行動がとりくまれました。

川崎市中原平和公園では、「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」が開催されました。参加者は1650名で、午前中からブースがいくつも出て交流を深め、メイン集会では、さまざまな運動団体から脱原発の取り組みや思いなどが訴えられました。集会終了後のパレードでは元住吉駅の商店街（ブレーメン通り）約800mを行進してアピールしました。

これまで川崎駅近くではメーデーなどで1000名を超えるデモはありますが、中原区の平和公園近くでは初めてであり、「原発いらない」「子供をまもれ」「いのちをまもれ」などの声に、沿道では賛同と歓迎で迎えられました。

福島避難者からも訴え

横浜市中区では、大通公園に約1500人が参加、福島の避難者が現状を報告し、支援を訴えました。また、福島集会の会場からも、現地の方が「子供のためにも現地で頑張る」と連帯のメッセージがありました。

約一時間半のデモでは、低音のサウンドを響かせるサウンドカーが登場し

「原発いらない」「原発危ない」とコールし沿道の注目を集めました。参加者の多くが脱原発のイメージカラーである黄色のプラカードや風船を持ったり、黄色の服を着るなどして市民に大きくアピールしました。

東京電力神奈川支店前では、「全面賠償をただちに」など東電の責任を厳しく追及しました。

相模原では、室内での物産展や交流会を行い、約300人が参加。その後、相模原駅まで風船パレードを行い、シュプレヒコールでは斬新なラップ調でアピールしました。この間の派遣村などの取り組みで市民団体や政党などのつながりが深まり参加者が広がりました。



横浜市中区での集会

小田原では集会に約 150 名が参加。パレード時には途中参加者が増え、200 名が小田原駅周辺をパレードし市民の注目を集めました。



○ **第12回かながわ社会保障学校**

「許すな!撤回させよう!社会保障と税の「一体改革」

日時：3月31日(土) 13:00~17:00

会場：建設プラザ 2F 大会議室

講演①「危険、共通番号制度！」

税理士・益子良一さん

講演②「一体改革を斬る！」

神戸女学院大学教授・石川康宏さん

主催：神奈川県社会保障推進協議会

○ **さよなら原発 4・1 大集会 in いばらき**

日時：4月1日(日) 11:00~

会場：笠松運動公園

※参加申し込み、問い合わせは神奈川労連まで。

バス1台をチャーターします。料金は3000円

横浜天理ビル前 9:30 出発予定。

○ **消費税大増税ストップ! 国民集会**

日時：4月12日(木) 12:00~ *請願デモあり

会場：日比谷野外音楽堂

主催：国民春闘共闘委員会・東京春闘共闘委員会・
全労連